

デジタル変革する 事業経営 との連携

～ストーリーを描き、無形資産の投資・活用を促進する～

2023 2/28

東京国際フォーラム ホールC

10:00～16:40 開場9:15

(開場直後は混雑が予想されますのでご注意ください)

来賓講演
(日英同時通訳)

無形を有形に ～変革する世界でグローバルなインパクトを与えるための知財活用～
WIPO事務局長 **ダレン・タン氏**

基調講演

妄想する頭 思考する手 想像を超えるアイデアのつくり方
東京大学大学院情報学環教授
ソニーコンピュータサイエンス研究所副所長 **暦本 純一氏**

パネルディスカッション

DX、GX、IPトランスフォーメーション時代に活躍する人材、
経営と知的財産担当者との連携強化

デジタル変革(DX)で変わりつつある事業経営と知的財産との連携が求められています。2021年改訂されたコーポレートガバナンス・コードにおいて、取締役会は人的資本・知的財産への投資等の重要性に鑑み実効的に監督を行うべきと明示され、また知的財産推進計画2022では、企業における知財・無形資産の投資・活用が重要であるとされています。

しかし、知的財産自体が目に見えない無体財産でもあり、経営資源として事業経営に適切に生かし事業競争力を強くすることは容易ではなく、特許庁発行の「2022年度企業価値向上に資する知的財産活用事例集」において、企業アンケート調査結果で経営と知財部門とで情報共有できているとポジティブな回答をした割合は約2割にすぎず、ネガティブな回答をした割合が約4割もあるとされています。今こそ私たちは自ら“妄想力”を発揮して成長ストーリーを考え、自分ごととして経営者と能動的なコミュニケーションを仕掛けるべきではないでしょうか。

そこで、今年のJIPA知財シンポジウムでは、 이슈(解決すべき課題)を直視して成長ストーリーを描き、多様な考えを繋いでイノベーションを興し、無形資産の投資・活用が進む仕掛けに私たちが自律して取り組むきっかけになることを目指します。

ご準備
ください!

英日の同時通訳は、皆様のスマホ・タブレット等でお聞きいただけます。

※スマホ・タブレットに右記QRコードよりアプリRecolisを事前にインストールください
※当日は必ずご自身のイヤホンをご持参し、ご視聴ください



事前登録制

参加費無料

定員750名(Web配信なし)

本シンポジウムには事前登録が必要です。

2023年1月13日(金)

申込開始

下記URLまたはQRコードよりお申し込み下さい。



<https://www.jipa.or.jp/form/22sympo.html>

注) 定員になり次第締切らせていただきます。



第22回 JIPA 知財シンポジウム プログラム

10:00 開会挨拶 JIPA 会長 柵山 正樹

10:05 来賓挨拶 特許庁長官 濱野 幸一氏

10:20 来賓講演 「無形を有形に ～変革する世界でグローバルなインパクトを与えるための知財活用～」



Making Intangibles Tangible - Leveraging IP for Global Impact in a Transforming World -

WIPO 事務局長 ダレン・タン 氏

質疑コーディネータ
別宮 智徳 (JIPA 参与/日産自動車)



11:20 昼休み/ポスターセッション※

12:50 基調講演 「妄想する頭 思考する手 想像を超えるアイデアのつくり方」



東京大学大学院情報学環教授
ソニーコンピューターサイエンス研究所副所長
暦本 純一氏

質疑コーディネータ
下川原 郁子 (JIPA 副理事長/東芝)



デジタル変革(DX/AI)時代は、イノベーションを興す正しく絶好の機会です。しかし、この世に新たな価値を創造するのは一見容易でなく、思考や発想法にちょっとしたコツが必要です。イシューを直視して想像を働かせ、そのイシューを解決する妄想を簡潔に言語化するためのアプローチ、そして言語化された妄想を知的財産に変え、経営層も巻き込んだ事業戦略へと昇華させるためのコミュニケーションについて語ります。

14:05 休憩/ポスターセッション※

14:40 パネルディスカッション
「DX、GX、IP トランスフォーメーション時代に活躍する人材、
経営と知的財産担当者との連携強化」

DX、GX、IPトランスフォーメーションといった言葉で表現される、変化が著しい環境下において、事業経営も変容が求められます。知財部門も、この流れに対応して長期的な視点で会社を動かせる形に変容することが求められているのではないでしょうか。経営トップを動かし、長期的な視点で会社を動かしていくための具体的な取り組み、並びにそれに対応できる人材育成を通して、これからの知財部門がどうあるべきか、パネリストの皆様と考えていきます。

コーディネータ



長澤 健一

JIPA副会長
キャノン 知的財産法務本部長
専務執行役員
経済安全保障統括室長

パネリスト



青山 裕紀氏

Splink
代表取締役社長

パネリスト



遠藤 嘉浩

JIPA常務理事
本田技研工業
執行職
知的財産・法務統括部長

パネリスト



地曳 慶一

貝印
取締役
上席執行役員 知財・法務本部長
CIPO 兼 CLO

パネリスト



中村 栄

旭化成
知財インテリジェンス室
シニアフェロー

16:25 ポスターセッション結果発表 シンポジウム実行委員長 水方 勝哉 (JIPA 常務理事 ダイセル)

16:30 閉会挨拶 JIPA 理事長 伊東 正樹 (豊田自動織機)

17:00~19:00 レセプション (有料 8,000 円 ホール D5)

※今年のポスターセッションはシンポジウム会場と同じC棟2階のロビーで終日展示します。
お昼休みと休憩時には各専門委員会メンバーが研究成果や現状、課題等について直接ご紹介いたします。

----- ご来場にあたって (●お願いと○お知らせ) -----

●ご入館前に手指消毒をお願いいたします。また会場内でのマスクの着用をお願いいたします。●受付時に、コロナウイルス感染防止申告票をご提出いただけます。(37.5度以上の方はご入場をお断りします)。●他人との会話や接触はできるだけお控えください。●受付時の混雑や密集を避けるため、時間に余裕をもってご来場ください。○会場の消毒・清掃を徹底します(使用した会場の机・ドアノブなどを消毒をします)。○換気を徹底します(休憩時には入り口を開け換気を行います)。○スタッフはマスクの着用を必須とします。○登壇者、スタッフは、来場時に検温します。

※講演者・タイトル・講演時間は変更される場合がありますので、予めご了承ください。 ※本シンポジウムの録音・録画・撮影・SNSへの投稿を禁止します。

※最新情報は、JIPAホームページでご確認ください。 <https://www.jipa.or.jp/form/22sympo.html>